

恵の聖母の家 園内報

ルルドの丘

2018
5月
No.41



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

訪問看護あんな



みことば

“うつくしき わたし”

うつくしくなるといったん人はとうのいてみえる
もっとうつくしくなると かがやいて ちかづいてくる
八木重吉さんの詩から

きらりん

生活福祉課アカデミー

生活福祉課では、毎年4月に課内の勉強会で個人目標を立てています。2016年、2017年と2年続けて、日本女子大学の人間社会学部社会福祉学科教授の久田則夫先生の著書『人間が育つ・職場が変わる気づき力』をもとに個人目標を立てました。本に書かれている福祉の仕事力に関する10の質問事項をチェックし、その結果、自分にはどの力が課題なのかを知り、それを克服するために目標を決め、達成に向けた具体的な計画を立てました。そして、各個人の福祉の仕事力アップに向けた取り組みを年度末に課内で開く「生活福祉課アカデミー」で発表するというゴールも明確にし、自分へのチャレンジを皆で始めました。また、半年後の中間評価では、方向性を再確認しました。現在実施している利用者の皆さんの個別支援計画書の職員版短期目標だと思ってください。あくまでも自分の自己実現のためにするもので、1年後の結果については、発表も含めて、自己責任となります。

発表方法は自由で、お茶を飲みながらお互いの1年間の発表に耳を傾けます。生活福祉課職員全員が集まるのは勤務上難しいので3回にわけて実施し、副施設長・総師長・師長にも参加をお願いする場合があります。1年目の発表では介護福祉士のシスター尾島がクリスマスの集いでコルベ神父様の紙芝居を作成し上映をしたことや病棟でツリーチャイムを使った療育に積極的に取り組んだ発表が光っていました。2年目は保育士の渡辺が手作りの布絵本を作って利用者の興味・関心を視線や表情から理解する取り組みをしたという発表は利用者本位のサービスということを実践した感動を呼ぶものでした。発表を通して、自己分析をした結果をもとに福祉職各自が1年間問題解決に向けて、本を読んだり、インターネットで検索したり、研修で学習したことを実践したり、研究発表につなげたりと、それぞれが行動していることがわかり、職員の相互理解につながったと感じています。今年も福祉の仕事力向上に向けた取り組みが始まります。1年後が楽しみです。

生活福祉課 保育士 倉本恵子



巻頭言

施設長 佐藤 圭右

恵の聖母の家がある臼杵市ですが、一九九五年の年間出生数は三一九人、二〇〇〇年は三三四人で、以後、二〇〇五年は二六四人、二〇一〇年は三〇一人、二〇一五年は一八八人と減少してきています。

これに伴い、臼杵市が二〇一四年に公表した資料(ホームページ)では、総人口は、二〇〇〇年の四五四七八人から、二〇〇五年が四三三五二人、二〇一〇年が四一四六九人となり、二〇一五年には三八七一人、二〇二〇年には三六一三一人になると予想されています。ここで問題になるのが、生産年齢人口の推移です。同様の資料から、二〇〇〇年には二七三七八人であったものが、二五二二九人、二三二四五人と減少し、二〇三三一人、一八一五二人と予想されています。

二〇一二年現在、就業している看護師は、人口十万人あたり七九六・六人、准看護師は二八〇・六人でした。つまり、生産年齢人口十万人あたり、看護師、准看護師併せて、一〇七七・二人いることになりました。

この平成二四年の看護師・准看護師の数を基準に、臼杵市の生産年齢人口と合わせて計算すると、二〇〇〇年には二八八・〇人いた看護師・准看護師が、二六五・三人、二四三・四人と減少している、二〇一五年には二二二・八人、二〇二〇年には一九〇・九人とさらに減少していくと推計されます。つまり、臼杵市では生産年齢人口が二〇〇〇年から二〇二〇年までの間に三三・八%減っているわけですから、統計上の推論ではありませんが、当然、看護師・准看護師も一〇〇人近く減ったと推計できることになります。

なか充足数を満たせません。これは、当施設に限ったことではなく、他の重症児者施設も、看護学校を併設しているところ以外は同様だと伺っています。

日本の人口が減少していく、と言われていますが、実際に働く人口が減っていけば、当然その一定数いるはずの看護職員も、そして同様の推計で介護職員も減っていくのは容易に考えられます。その中で、どうすれば職員を確保できるのか、今、大変難しい問題に差し掛かっています。

その少なくなっていく専門職を雇い入れるために、病院などでは待遇を少しでも良くする方向で動いているのではないのでしょうか。しかし、私たちのような施設では、医療収入はそんなに増やすこともできず、重症児者施設の人件費率は七〇%くらい(当施設は七四%)で推移しています。ですので、給料面を改善とはなかなか厳しい状況です。

☆
この四月末に、大分合同新聞看護職就職ガイダンス二〇一九

というものがあり、当施設も参加しました。参加一二施設中、急性期病院が一一施設という中で、唯一慢性期病院として、やりがいや看護の原点を訴え、予想よりも多くの看護学生が話を聞きに来てくれたそうです。学生さんには訴えること、心に響くものがあつたのかなと思いました。

前回の巻頭言でお話しましたように「抱えない介護」を少しずつ実現し、利用者さんの思いに寄り添った療育・日中活動を行い、働き甲斐のある職場を目指して、地域に頼られ、必要とされる施設となる、そんな当たり前のことを地道に実現し、そこで働くことを誇らしく思える職場とし、ひいては職員確保につなげていきたい。

厳しい現実があるのもわかっています。ですが、そんな甘っちょろいことも、最近、夢見ています。



ご挨拶



真夏の夜の夢

事務次長 森 幸一

ロープウェイに乗って、小高い山を登っていく。「ああ、こんな街だったんだ」十年前に見た景色、そしてさらにさかのぼること三十年前の景色をもう思い出すことはできないけれど、感慨はふかまるばかり。

ルルドの丘が配布されるこの時期には既に平成三十年四月の様々な改定が実施されている。三年に一度、あるいは二年に一度見直されることになっている報酬改定や制度の改正については少なからず神経を使う。それに加えて、日々修正が行われている制度とそれに伴う報酬の加算・減算。細かいけれども、施設の収入に大きな影響を与えることもある。

今回の障害福祉サービス改定の目玉は、障がい児者の重度化・高齢化に対する支援と在宅の医療的ケア児への支援と対応だと思えます。そして重症児に対する居宅訪問型児童発達支援や看護師の基準以上の配置に対する加算等の体制整備のようです。

目の前の景色、それがこの改定だと考えると、十年後の景色は何だろう。恵の聖母の家がどうなっているだろう。それを想像するのは楽しいと思いませんか。我々の想像力が恵の聖母の家の十年後を決めることになるかもしれません。

今の状態のままで十年後があるとは考えられません。世の中は常に動いています。誰が今のアメリカ大統領の存在を十年前に想像できたでしょうか。同じことがこの福祉の世界でもありうると思いませんか。



< 眉山より徳島市街地 >

福祉の心を保ち続けなくては、恵の聖母の家の存在はありません。でも世の中の流れを敏感に感じながら変化に対応していかなければ、恵の聖母の家そのものが存在しなくなりそうです。変化が必要な時が目の前にあるのかもしれない。「真夏の夜の夢」のようにとりとめのないことを考えながら、でも必要な…。

山頂から見る町並みは、さかのぼる三十年前の景色の記憶からは消えているけれど、消えていない甘酸っぱい思い出とともに眉山はある。

ご挨拶



新年度によせて

総看護師長 藤井 智恵

仕事に追われ、やっと家路にたどりついたと思ったら、夕飯の支度、片付け、テレビをゆっくり見る暇もなく、あわただしく風呂に入りそのまま寝床に就き、気がつけば朝。風呂掃除をし、洗濯ものを干し、軽くごはんを食べ、もう時間ないけど、せめてちよっと新聞のなめ読み…朝日新聞に掲載されている、折々のことばと、天声人語には必ずと言っていいほど目を通すようになったのは、いつごろからかはわかりませんが、天声人語は、一面に毎日掲載されている時事コラムです。ニュースと同時に、季節の話題や旬の話題も入っていて、短い記事のなかに今日一日の糧になるようなできごともあり、その言葉を探して、よし、今日はこれで行くとうと自分を奮い立たせて出勤している毎日です。

先日、こんな記事がありました。「江戸の絵師、葛飾北斎は大変な転居癖があったらしい。数えの九十歳で亡くなるまでに、九十三回住まいを変えた」とされる。北斎は絵に熱中するあまり、部屋は散らかり放題で、どうにもならなくなると家を変えた。新しい環境に身を置くことが晩年まで変化を続けた画風の活力になったのだろうか。』というものです。

春は入学、就職、転勤など引越しの季節でもあります。住む場所を変えると、新しい自分になる気がする人もいるでしょう。恵の聖母の家を移転することはできませんが、当施設でも、三月に退職した人、

再雇用でまだまだ頑張っていたいただいている人、四月には新職員も入職し、心機一転二〇一八年度がスタートしました。慣れ親しんだ場所を去る、使わなくなったものを整理整頓するなど、物はなくなってもそこにあつた思い出はいつまでも残って行きま。この地にどっしり構え、先輩たちが残してくれたものを大事にしつつ、毎日の忙しい業務の中ではありますが、ちよっとは立ち止まり、時々はその思い出を振り返ることも必要ではないかと思えます。

今年度目標は、「共同」サブテーマ、ともに輝き成長するです。自分たちがやってきたことに間違いはなかったことを確信しつつ、入所・在宅者のために、何かあつたら恵の聖母の家を思い出していただけるように、医療・福祉を通して私たちができる精一杯の支援をしたいと思えます。





看護課



私の歴史

看護師主任 小手川 孝行

看護師の免許を取得し二十年が経ちました。正確に言うと二十三年なのですが、残りの七年は准看護師として働いていました。准看護師時代は、「何をしているのだろう」と毎日悩んでいたことを思い出します。今でこそ男性看護師がいてもおかしくないこの業界ですが、私たちが仕事を始めた時代は、まだ男性は少なく、女性が主体の職業。丁度、看護婦から看護師に名前が変わった時代です。そのような中、「俺は男だ！」なんてくだらないプライドを持つ一人の青年は思ったのです。「もっと他に仕事があるのではないか？」と。元々、内気で女性と話すことが苦手な私は、いつもそんなことを思っていました。男性に囲まれているとは思いませんが、女性に囲まれていると恥ずかしくなってしまう、純朴なまるとどこかの男性師長のような男だったので。結局、別の仕事に就くなんてことも



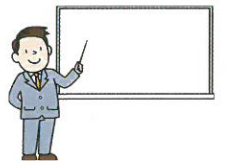
組むことができています。さて、そのような私に誰がどのように仕組んだのかわかりませんが、脂汗を垂らすような出来事が起こってしまいました。今年度より主任として働かせて頂くことになったのです。その重圧で、百九十cmあった身長も二十cmは縮み、大好きなゴルフは



きるわけもなく、のらりくらり過ごしていました。しかし、ある患者から「あなたがいてくれてよかった」という言葉を頂きました。

純朴な青年に衝撃が走りました。私にとって仕事に求める要素は、働きやすい環境でもなく、お金でもなく、自分が必要とされることだと気づかされたのです。看護の喜びに気が付く時期は人それぞれだと、看護学校の先生が言っていたことを思い出しました。単純な私は、それから一年間勉強をやり直し、正看護師の免許を取得。精神科に十四年。患では勤務七年目を迎えました。今では、誇りを持ちこの仕事に取り

訓練課



仕事とプライベート

作業療法士主任 兒玉 敬祐

患の聖母の家に就職して、今年で七年目になりました。私はこの数年を振り返り、作業療法士としての日々の業務はもちろん、学会発表・研修会参加・講演会講師等の仕事の機会を頂き、自分自身が飛躍することができた数年間であったように思えます。また、仕事を通して社会人としての礼儀やマナーだけでなく、社会において当施設がある臼杵市で、どのように県南地域の方々と暮らし、どのようなことを地域や大分県内で担っているのかなども考えるようになってきました。

ここで話は変わりますが、私は二年前結婚し、今年の六月には一児の父親になりました。今は妻と一緒に子どもの名前を考えていますがなかなか決まりません。

就職当初は、仕事もプライベートも現在のようになるとは想像もしていませんでした。数名であった訓練課職員も今では、

できないが、ご飯だけはおいしく食べれており太る一方。

冗談はここまでとして、私は看護師としてこの分野のエキスパートを目指したかったのですが、何かの縁があり、これからは、主任として働かせて頂くこととなりました。この患の聖母の家をどのようにしていかなければならないのか。どのような組織にしたいのか。



責任と課題は山積みです。しかしながら、看護職だけではなく、患の聖母の家の職員全体で同じ方向を向き、安全・安心・愛のある支援を提供できるよう努力していきたいと思っています。未熟な私ですが、今後ともよろしくお願ひします。

公開療育 3月5日 のぞみの丘

保育士の療育の質の向上や専門性を高めること、多職種協同の観点から保育士の関わりを周知することを目的に、毎年行っています。今回は感覚をメインに、生活のリフレッシュを図りました。はじめに童歌でマッサージ、次にレクリエーション、その後、紙や風船ベッドを用いて、ふわっとした感覚を体験しました。風船が身体にフィットして、気持ち良さそうの人等、色々な表情が見られました。



第40回九州地区重症心身障害研究会 3月10日

沖縄県那覇市の男女共同参画センター“ていある”で開かれました。当施設からは、「看護」「療育」の分野で看護師が「重症児者の生活を支える看護師の役割」について、保育士が「入所利用者が個展を開くまでの支援」について、それぞれ発表しました。このうち保育士の発表がそのセッションの優秀賞を、また当施設の取り組みについては参加した皆さまからご意見、ご質問を頂くことができました。ありがとうございました。



恵アカデミー賞 3月15日 2階会議室

各部署や委員会等の年度の取組や結果が共有できる場・施設全体を元気にしていく場・日頃地道にやっている縁の下の力持ちを紹介する場等として、今年も恵アカデミーを開きました。今回は看護課から「病棟職員へのアンケート結果」「これからの人材確保」等、生活福祉課から「インリアル・アプローチ」、他に病棟、総務部、センターめぐみから発表がありました。最後に副施設長から、「恵らしさ」「努力を将来につなげていくことの大事さ」「重症児が持っている力を引き出す支援の大切さ」等の総評がありました。恵の聖母の家は医療と福祉の施設です。理念を大切に、施設内だけでなく、それを施設の外にも広げていきたいと思っております。

定年対象職員感謝状授与式 3月30日

平成29年度をもって退職される職員に感謝を込めて、感謝状が贈られました。代表者挨拶では、開設当初から勤務された職員から当時の話がありました。これまで本当にありがとうございました。



復活祭ごミサ 4月1日 地域交流ホーム

地域交流ホームで恵の聖母の家、潔き聖母の家の方、他関係者とお祈りを捧げました。ミサの中で神父様は「桜の木は花がない時期は寂しいけれど、満開になると皆が桜の素晴らしさを感じます。同じように、復活祭を迎えることはイエスさまの素晴らしさや新しい命を感じ、それが皆に大きな希望を生むことになるのです」と復活の意味を話してくれました。



2018年度恵の聖母の家活動予定

月	曜日	内容
3	29 木	施設外療育 (吉四六ランド)
4	上旬	お花見 (潔き聖母の家)
	1 日	復活祭ごミサ (地域交流ホーム)
	26 木	午前：施設外療育 (臼杵石仏) 午後：施設外療育 (道の駅みえ)
5	13 日	ルルド祭
	17 木	施設外療育 (佐野植物公園)
	24 木	午前：施設外療育 (臼杵石仏)
	24 木	午後：施設外療育 (道の駅きよかわ)
6	16 土	ふれあい運動会
	17 日	父の日 (絵手紙)
	21 木	施設外療育 (犬飼リバーパーク)
7	28 木	施設外療育 (パークプレイス大分)
	5 木	施設外療育 (マルシヨク臼杵)
	7 土	七夕
	21 土	夏のボランティア公演
8	計画中	夏の集い
	15 水	聖母被昇天祭・故利用者追悼ごミサ
	8 土	家族の日ファミリーフェスティバル
	20 木	施設外療育 (パークプレイス大分)
	27 木	施設外療育 (臼杵マルシヨク)
	11 木	施設外療育 (臼杵しまむら)
	16 火	施設外療育 (施設内活動)
	18 木	施設外療育 (パークプレイス大分)
	11 3 土	ボランティア公演 (檜の実少年少女合唱団)
	8 土	クリスマスの集い
12	13 木	餅つき
	24 月	サンタプレゼント
25 火	クリスマス・ミサ	
2019年		
1	お正月行事	
2	節分行事	
3	雛祭行事	

※予定変更の場合があります。

お正月 2018年1月1日

朝食後、皆でホールに集まって、新年の挨拶とお正月のお祝いをすることができました。着物で参加した職員もいて、会場も華やかになりました。職員が扮したマリックのハンドパワーのマジックで初笑いをし、最後はお屠蘇で楽しい年明けとなりました。



永年勤続表彰 1月10日 病棟ホール

当施設に10年、20年、30年と永年に亘って職務に専念し、福祉向上に大きく貢献した職員を表彰しました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



2018年度児童発達支援センターめぐみ活動予定

月	内容	
4	春を感じよう！	お花見
	散歩・戸外活動	潔き聖母の家
	母の日の準備	ハーバリウム
5	母の日	ハーバリウム贈呈
	戸外活動	ゴルフ等
	散策	藤のお花見
	父の日の準備	カード制作
6	行事準備	競技道具作成 競技練習
	父の日	カード贈呈
	スポーツレク	ターゲットボール他
7	レクダンス	準備中
	施設行事参加	ふれあい運動会 (16日)
	夏を感じよう！	ミュージックケア・アロマ
	七夕	飾り作り
8	感覚遊び	太鼓相撲夏場所等
	リフレッシュ活動	映画鑑賞・スヌーズレン等
	人権月間	ビデオ等
9	ボランティア公演	準備中
	活動	太鼓相撲秋場所等
	スポーツレク	
10	行事準備	家族の日ファミリーフェスティバル・作品展示
	秋を感じよう！	ミュージックケア・アロマ・スヌーズレン他
	散歩	ハロウィンパーティ
	秋祭り (ご家族と)	
11	レクダンス	準備中です
	勤労感謝に向けて	カード作り
12	クリスマス準備	DVD 鑑賞等
	冬を感じよう！	
	施設行事参加	クリスマスの集い (9日)
2019年	お正月準備	餅つき 年賀状書き
	1	お正月行事・太鼓相撲初場所・節分準備
2	節分行事・雛祭準備・レクリエーション	
3	雛祭行事・レクリエーション	

※予定変更の場合があります。

歳末たすけあい
チャリティショー
2017年12月3日 日曜日

「つながり、ささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに野津中央公民館で開かれました。中学校吹奏楽部や保育園児、民謡クラブによる演奏、演技に続いて、恵の聖母の家で打楽器を中心とした演奏グループも出演しました。「栄光の架橋」と「あわてんぼうのサンタクロース」を演奏して、演奏後は司会の方の質問にも堂々と答えて、会場からたくさんの拍手を頂きました。



施設外療育
吉四六ランド 3月29日 木曜日

入所者6名でお花見に出かけました。出発の時から気持ち良さそうに声を出している方もいました。お天気にも恵まれ、特に今年は桜の開花と重なり、青空のもと、お花見を楽しむことができました。オリエンテーリングでは、太陽の光がまぶしいのか、桜に目を向けられない方もいましたが、皆、気持ち良さそうな表情をしていました。池では、鯉の餌やりを上手に行う方もいました。3家族の参加があり、入所者は声をかけられながら、楽しい時間を過ごしました。



「介護男子 Photo & Movie Contest」
2017年11月

大分県介護研修センターの取り組みの一つで、介護にかかわる男性の写真等を通して男性の介護に焦点をあてて、介護に対する印象や評価を変えることを目的としたコンテストが大分県介護研修センターで開かれました。当施設も写真を撮って応募しました。作品は全て展示され、当施設の写真には「優しさが伝わってくる」「きらきら輝いてかっこいい」等の感想を頂きました。皆さま、ありがとうございました。



全体研修から
SNSについて 2017年12月21日

虐待防止部会と質向上委員会が中心になってSNSやICTによる人権に関する全体研修を開きました。テーマは、①情報社会と人権を理解する②SNS利用上の注意点です。誰もが情報発信者になれる一方、プライバシーの侵害やなりすましの被害も増加しています。投稿する場合、常にそこに人がいること、人はフリー素材ではないことに注意し、節度や責任を持って情報を発信していきたいと思っております。

医療安全について
2018年2月22日

当施設の「医療安全について～ミスについて～」をテーマに医療安全委員会が研修を行いました。研修は①どうしてミスをするのか②対処・対策について③ミスをしないためには、の3点を中心に進められました。ミスはあってはならないことですがミスをしないような方法や手順を整え、これからも利用者が安心して施設を利用できるように職員一同、医療安全に努めていきます。





児童発達支援センターめぐみ

じきりじり

◆クリスマスの集い 十二月九日(主)

クリスマス
の集いが地域
交流ホームで
行われまし
た。生活介護
の利用者、放
課後等デイ
サービスの利
用児、児童発
達支援の利用
児の参加があり、aicoさま、臼杵ウイ
ンドアンサンブルの皆さまの素敵な歌声や
演奏をはじめ、楽しいひと時を過ごすこと
ができました。何といっても今回の聖劇の
中では、ペープサートを使って生活介護の利
用者が主体となり「七つの星」というト
ルストイの民話を演じました。当日が、い
ざ本番のスタイルではなく事前に撮影を
してその映像を流す構成で挑みました。何
度も練習を重ねた甲斐もあり、利用者だけ
でなくスタッフも納得のいく作品が仕上が
りました。おわりの言葉では放課後等デイ
サービスの利用児が指文字を交え、会を締
めくくってくれました。



<クリスマスの集いから>

◆新春にあたり 一月五日(金)

新春を迎え、正月遊びで「福笑い」を行
いました。スタッフのみ目隠しをして、利
用者に確認をとりながら挑戦したり、利用
児者、スタッフ両者ともに目隠しをして挑
むなど笑いの絶えない時間となり、最後に

全員で出来
上がった福
笑いと一緒に
記念撮影
をして初笑
いを楽しみ
ました。



<お正月は福笑い>

◆今年の抱負 一月十一日(木)

利用児者の最近の様子や好きなこと連絡
帳等からヒントを得て初夢や干支をイメー
ジしながら制作活動の中で今年の抱負を一
人ひとり考えました。皆健康に過ごせませ
うように。

◆節分 二月二日(金)



<今年も鬼を退治しました>

無病息災
を願って節
分の豆まき
を行いました。
鬼に扮
したスタッ
フが二体登
場すると一
斉に「鬼は
外、福は
内」の元気なかけ声と一緒に力いっぱい豆
(ボール)を投げつけました。二度、三度
と鬼の来襲がありました。皆の迫力ある
豆まきにさすがの鬼も退散となりました。
佐伯支援学校の現場体験実習生の参加もあ
り、大勢で楽しむことができました。

◆ひな祭り 三月二日(金)

ひな祭りの起源は、季節の節目や変わり
目に災難や厄から身を守り、よりよい幕開
けを願うための節句が始まりとされていま
す。センターでも生活介護の利用者がお内
裏さまとお雛さまの衣装を身にまといて記
念撮影をしました。男らしく綺麗な衣装に
ちをみせる場面や、女らしく綺麗な衣装に
うっとりとした表情をみせるなど終始華や
かな雰囲気の中で楽しい時間を過ごすこと
ができました。



<着物がとてもお似合いでした>

※昨年、NHK歳末たすけあい募金さまから
助成金を頂きました。皆で相談し、利用者
が自分の力で楽しめるものと考え、たいこ
相撲を購入させていただきました。関係者
の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

スタッフから

ひとり言

保育士 高橋 文子

「私のひとり言を聞いてくれますかー」丁
度一年前私は定年を迎えました。定年を迎

える五年前までは、「よーし、六十歳の還
暦を迎えたら仕事を辞めて、のんびりと
ゆっくり過ごすか」と、考えていま
した。ところがどっこいそうもいかず今も
せっせと働いています。もう一つ考えてい
たのが、四国八十八か所巡りでした。六十
年生きてきた自分に自問自答していたの
で、お遍路さんとして巡拝しようと思った
のです。

白衣、念珠、お袈裟、ずた袋(納経帳、
納め札、ロウソク、線香)を購入して
二〇一六年三月末に第一回目のお遍路巡拝
をしました。お寺の本堂と大師堂で般若心
経を挙げながら巡拝しました。気づくと経
本を手にするとなんか般若心経を挙げられ
ようになっっていました。また、この四国
八十八か所巡りを私が車で巡る中、徒歩で
巡る方を目の前にした時、頭が下がる思い
になったことを思い出しました。そして昨
年の三月末に四国八十八か所巡りを終え、
今年三月二十二日に和歌山の高野山奥の
院へ行き、巡拝することで満願成就がで
きました。これも弘法大師(空海)さまと同
行二人でき、弘法大師さまと二人で無事に
巡拝することができた気がしています。
私の人生のほんのひとこまの出来事にす
ぎませんが良き人生路となりました。





託児所



託児所の子どもたち

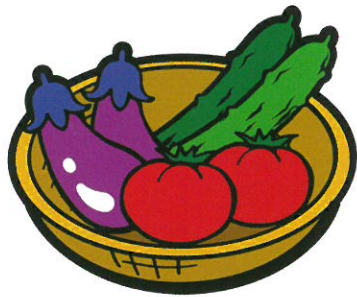
佐藤 陽子

昨年も畑作りに精を出し、ミニトマト、きゅうり、ナス、ししとう、スイカ、ピーマン、パセリ、ゴーヤ、からし菜を育てました。しかし、スイカは収穫目前になって、鹿なのか、イノシシなのか…、何ものかに畑を荒らされ、食べることができなかったことがとっても心残り…涙。子どもたちも「スイカが大きくなりよるな」「もう食べられる?」と楽しみにしていたのに…ガツクリでした。

そんなこともありましたが、子どもたちは水やりしながら、ホースから出る水のアーチの下を何度も行き来して水遊び。「このナスは僕の!!」「じゃ、これはわたしの!!」なんて話をしながらのお世話。とても賑やかな畑仕事でした。

そんな経験を託児所ですっきり積み重ねてほしくて、今年もまた何を植えようかな?と、先生たちで相談中です。昨年はお休みしたお芋も今年は植えます!! 苗植え↓お世話↓収穫と、今年も、いっぱい自然に触れることを楽しんでほしいと思います。

託児所では三月下旬のこの時期、園庭に「つくし」がいっぱいいます。「おうちでお母さんがお好み焼きにしてくれるのっち言うけん、とって帰る〜」と、子どもたちは一所懸命にとっています。「昨年は卵とじにして食べたよ!」って言ってたね。食事中の



日々の羨はもちろんです、食べることも楽しめる子に育ててほしいです。

外だけでなく、保育室の中でもヒヤシンス(お花)を育てたり、カエルの卵をとってきて育てたり…。いろんなことに興味をもてるように、私たちも環境を整えていこうと気を配っています。託児所を利用する子どもたちにとって、過ごしやすい場所になることはもちろんのこと、楽しく笑顔いっぱい過ごせる場所となるように…。日々、職員三人で模索中です。

生活福祉課



好きな事を活かした療育を目指して…

保育士 齊藤 昌美

私が恵の聖母の家に入職して、一年半が経ちました。職員の方や保護者の方、利用者の方に様々な事を教えて頂きながら日々学んでいます。感謝の気持ちでいっぱいです。今後よろしくお願いします。

話は変わりますが…私には、これだけという好きな事があります。それは、音楽です。音楽には不思議な力があり、辛い時、悲しい時に、メロディーを聴いたり、歌詞に共感したりすると気持ちが落ち着いてきます。嬉しい時、楽しい時などはワクワクし、元気が出たり、やる気が出たりします。私は中学のころからクラリネットをしています。今も練習して年に一回演奏会に参加していますが、その演奏を聴いている方が楽しんだり、喜んでくれるととても嬉しい気持ちになります。

以前、病棟内のクリスマス会で、クラリネット演奏を披露してもらった機会がありました。その時、利用者の方もトーンチャイムを使って「きよしこのよる」の曲と一緒に演奏しました。すると、一体感が生まれ、ワクワクし、嬉しくなり、感動した覚えがあります。周りの方も「良かった」「またしてね」という声があり、嬉しかったと同時に、喜んでくれるならまた一緒に演奏したい!と思いました。

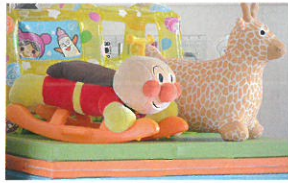


利用者の方と日常を過ごしているうちに、利用者の方たちは音楽が好きということを知りました。そこで私は、好きな音楽を通して、様々な事を共感し、一緒に楽しみたいと思うようになりました。

今後は、歌をうたったり、楽器を演奏したり、音楽に合わせてリズムをとったりしながら一緒に楽しみたいですね。また、利用者の方がリラックスでき、たくさん笑顔がみられるような、楽しめるような関わりや取り組み(療育)を考えていきたいです。



保護者の皆様から



いち保護者から…

息子は今5歳です。保育園に入ったのは3歳頃でした。ある時、保育園の先生から、「かんしゃくが少し強く、お友だちを叩いてしまうことがあります」とお話がありました。それまで特にそう思わなかったのですが、保育園の行事の時に一人だけ泣き止まないことがあって、他の子とは違うかなと感じました。保育園の先生は大事なことに早く気づいて、真剣に教えてくれる丁寧な先生で、息子の様子を見て、恵の聖母の家を教えてくださいました。ショックがなかったと言えばウソになりますが、保育園自体もいろいろお子さんを見ていて療育や発達にも詳しいところで、今思えば早く言ってもらって良かったなと思います。

恵の聖母の家では作業療法と言語聴覚療法が始まり、同じ頃に外来療育が始まりました。外来療育は子どもと親と一緒に遊ぶところと聞いていました。「それまで息子と一緒に遊ぶ機会がなかったな」と当時思ったことを覚えています。息子には言葉の遅れがあったのですが、遊びながら言葉を覚える時期だったので必

要だと思ってお願いしました。

外来療育には、次々にボールを入れるバスケットのようなおもちゃやコマなど、たくさんの遊びがありました。息子もしたい遊びを自分で選んで、ボール遊びでは、外来保育士が投げる時に「いきますよ」と声をかけると、息子も「いきますよ」と言い始めました。また制作活動で線に沿って紙を切つてのりで貼るひな人形作りをみて、「貼る作業が上手くなったな」と思っていたら、「鬼のお面作りで上手にのりを出せていたので褒めましたよ」と保育園から連絡もありました。「うまくなったね」と褒められて、息子も嬉しかったようです。クリスマスの時期に行った松ぼっくりの飾りつけでは、全て自分で考えて飾りつけを終えていました。外来保育士の先生から褒められることが嬉しそうで、それが息子の自信につながっているようです。

保育園にはいろんなことができる子ばかりいるので、息子はこちらに来るといろんなことが安心してできるので、好きな様子です。私の方は療育の先生方にも相談しやすかったり、相談にのってもらえるので私自身も助かっています。

集団活動の中ではその行為によって注意が必要な場面があります。療育の先生方は「どういう流れでその行為になったのか」「何か理由があったはず」と、子どもに沿ってみてくれます。

子どもの自信につながり、保護者も相談できることで療育の場だけでなく、日常生活や子どもが過す場に活かしていける…、外来療育や訓練はそういうところだと思います。

「恵の聖母の家」の園内報「ルルドの丘」の読者のみなさん、はじめまして。私、大分県立臼杵支援学校長に平成三十年四月一日付けで着任いたしました川野克浩（かわの かつひろ）と申します。少し思い出話をさせていただきます。

私は、平成元年に県立学校の社会科教諭として教員生活のスタートを切り出しました。三校目の転勤で石垣原養護学校（現、別府支援学校石垣原校）に赴任いたしました。石垣原養護学校は、西別府病院という病院に隣接しており、通学生ももちろんいますが、多くの児童生徒さんが療養中の西別府病院から車椅子等で教室に通ってくるという特別支援学校の中でも珍しい学校の一つです。

着任挨拶

大分県立臼杵支援学校

校長 川野 克浩



先日、本校の訪問教育の始業式に参加するため、「恵の聖母の家」の中に入れていただきました。理科の先生でもないのに、慣れない白衣を着て、生徒の車椅子を押しながら病棟に迎えにいられた石垣原養護学校勤務時代のこと懐かしく甦りました。

石垣原勤務当時は、とにかく初めてのことばかりで、先輩教員に手取り足取り教えてもらいながら、それこそ必死に勤務しておりました。療養生活を送りながら学校に通ってくる生徒と一緒にいろいろな学習活動を送る中で、「これが、教育の原点なのかなあ」と、思うことが度々ありました。石垣原で過ごした日々は、教員として、一皮（どころか二皮も三皮も）むける経験に繋がったという気がしています。

石垣原養護学校に七年間勤務して、その後、宇佐支援学校に五年間勤務いたしました。宇佐支援学校は知的障がいのある児童生徒たちが通う学校です。私は、県立学校の採用ですから、高等部に配属され、高等部の生徒たちと毎朝グラウンドを走り、AKBの「恋するフォーチュンクッキー」を踊ったり、充実した五年間を過ごしました。修学旅行も二度、引率しました。楽しい思い出の一つになっています。

さて、私の思い出話はこれまでにして、臼杵支援学校の話をしませう。

先日、四月十二日、とても温かい雰囲気の中で訪問教育の始業式を「恵の聖母の家」で行うことができました。職員の方々、入所されている方々のご協力のおかげです。ありがとうございました。

今年度は、三人の児童生徒さんが訪問教育の対象となっており、臼杵支援学校から

ぴかぴかぴかぴかぴかぴか

新しく入られたスタッフをご紹介します。① お名前 ② 職種 ③ お住まい ④ 趣味 ⑤ 一言

Meguminoseibo



- ① 吉良みき (きら みき) さん
- ② 正看護師
- ③ 佐伯市
- ④ サッカー観戦です! 大分トリニータサポーター、トリサポです。大銀ドームが出来る前、トリニータが市宮陸上競技場をホームにしている頃(まだJ1に昇格したことがない頃)から通ってまして…。かれこれ16年…17年になろうかと思っています。あと、チョコレートが大好きで、365日、毎日欠かさず食べています!!
- ⑤ とにかく、声が大きく、(イヤ、身体も大きいですが) 元気だけがとりえです。明るく、元氣良く、笑顔いっぱい頑張ります!



Meguminoseibo



- ① 狩野恵子 (かりの けいこ) さん
- ② 准看護師
- ③ 三重町
- ④ 編み物とショッピングです。
- ⑤ 子どものことで、いろいろご迷惑をおかけすると思いますが、仕事と家庭を両立できるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



人事

▼新規採用

二〇一七年 十月十六日付
看護士 吉良 みき

▼異動

二〇一八年 四月一日付
あゆみ・のぞみ病棟師長
河辺 慶太(旧ひかり病棟師長)
ひかり病棟師長
釘宮 千鶴
(旧あゆみ・のぞみ病棟師長)

▼退職

二〇一七年 十二月三十一日付
診療看護師 後藤 愛
事務員 上野智恵美

二〇一八年 二月二十八日付
看護師 佐藤 仁美

二〇一八年 三月三十一日付
看護師 長野 由香

二〇一八年 三月三十一日付
看護師 島袋 峰子

二〇一八年 三月三十一日付
看護助手 中原 志保

二〇一八年 三月三十一日付
看護士 今村 和典

二〇一八年 三月三十一日付
看護士 赤峰 富貴

二〇一八年 三月三十一日付
看護士 廣瀬久美代

二〇一八年 三月三十一日付
看護士 渡辺 春美

二〇一八年 三月三十一日付
看護士 芦刈 勝子

二〇一八年 三月三十一日付
看護士 藤本 明

「しき附

臼杵市社会福祉協議会さま・大分県共同募金会さま・株式会社そうりんさま・自藤キコエさま・満田敏夫さま・青木真智子さま・公益財団法人政策医療振興財団さま・公益財団法人日母おぎやー献金基金さま・恵の聖母の家めぐみ会さま・NHK歳末たすけあい募金さま(順不同)ありがとうございました。

◇各ご連絡・ご相談先

発達外来(初診受付) …0974-32-7778	児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784 保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護
相談支援事業所こころ…0974-32-7788	訪問看護あんな・地域連携室…0974-32-7667
外来保育きっず……………0974-32-7778	恵の聖母の家(代表) ……………0974-32-7770

平成30年度臼杵支援学校年間行事

- 4月20日 歓迎遠足
- 4月28日 PTA
- 5月19日 運動会
- 5月30日 オープンスクール
- 7月2日 PTA(予定)
- 7月19日 訪問終業式
- 8月30日 訪問始業式
- 9月5日 PTA
- 10月27日 スマフェス(文化祭)
- 12月5日 PTA
- 12月20日 訪問終業式
- 1月10日 訪問始業式
- 3月1日 卒業式(予定)
- 3月19日 訪問修了式

三人の教員が訪問教育のため施設を訪れることになっています。小学部の和田忍、亀山栄子、中学部の衛藤理恵子です。どうかよろしくお願ひいたします。

「恵の聖母の家」における訪問教育の児童生徒さんは三名ですが、臼杵支援学校の今年度の児童生徒総数は、四十二名です。昨年度よりも十名ほど減少しました。人数的には少し淋しくなりましたが、始業式以降、児童生徒の元気な声が校内のいろいろな場所から聞こえてきています。楽しい一年間になりそうです。

臼杵支援学校の平成30年度の年間行事を簡単にご紹介しておきます。実りのある楽しい一年間になることを期待しています。

「恵の聖母の家」の皆様には、常日頃より本校の訪問教育に対するあたたかいご支援とご協力をいただいております。大変感謝しております。特別支援学校の校長としましては、より一層、関係機関の方々との連携を深めて、「よりよい教育」を児童生徒に提供していきたいと考えております。どうか末永いご協力をよろしくお願いいたします。

行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊦…個別面談
㊧…権利擁護・虐待防止部会 ㊨…全体朝礼 ㊩…労働安全衛生委員会
㊪…リスクマネジメント部会 ㊫…入浴日

2018年5月			6月			7月			8月		
1	火	㊨㊫	1	金	㊫	1	日		1	水	㊫
2	水	㊧ ㊫	2	土		2	月	㊫	2	木	㊧
3	木		3	日		3	火	㊨	3	金	㊫
4	金	㊫	4	月	㊫	4	水	㊫	4	土	
5	土		5	火	㊨	5	木	マルシヨク臼杵	5	日	
6	日		6	水	㊫	6	金	㊫	6	月	㊫
7	月	㊫	7	木		7	土		7	火	㊨㊫
8	火	◎	8	金	㊫	8	日		8	水	㊫
9	水	㊫	9	土		9	月	㊫	9	木	
10	木		10	日		10	火	◎	10	金	㊫
11	金	㊫	11	月		11	水	㊫	11	土	
12	土		12	火	◎ ㊫	12	木		12	日	
13	日	ルルド祭	13	水		13	金	㊫	13	月	㊫
14	月	㊫	14	木	㊧	14	土		14	火	◎
15	火	◎	15	金	㊫	15	日		15	水	聖母被昇天ミサ㊫
16	水	㊩ ㊫	16	土	ふれあい運動会	16	月	㊫	16	木	㊪
17	木	佐野植物公園 ㊪	17	日		17	火	◎	17	金	㊫
18	金	㊫	18	月	㊫	18	水	㊩ ㊫	18	土	
19	土		19	火	◎	19	木	㊪	19	日	
20	日		20	水	㊩ ㊫	20	金	㊫	20	月	㊫
21	月	㊫	21	木	犬飼リバーパーク ㊪	21	土		21	火	◎
22	火	◎	22	金	㊫	22	日		22	水	㊩ ㊫
23	水	㊫	23	土		23	月	㊫	23	木	
24	木	臼杵石仏/道の駅きよかわ	24	日		24	火	◎ ㊦	24	金	㊫
25	金	㊫	25	月	㊫	25	水	㊫	25	土	
26	土		26	火	◎ ㊦	26	木	㊧	26	日	
27	日		27	水	㊫	27	金	㊫	27	月	㊫
28	月	㊫	28	木	パークプレイス大分	28	土		28	火	◎ ㊦
29	火	㊦	29	金	㊫	29	日		29	水	㊫
30	水		30	土		30	月	㊫	30	木	
31	木	㊫				31	火	◎	31	金	㊫

※予定変更の場合があります。 ※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。

編集後記

今年は大分県で、第33回国民文化祭・第13回全国障害者芸術・文化祭が開かれます。絵画等の作品やダンス等のパフォーマンスで参加される方も多いと思います。一人ひとりが輝ける機会になりますように。(S.M)